

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 ワークーション普及促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111(内 3075)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000千円(前年度予算額：5,000千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額	5,000	5,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

政府が新しい旅行や働き方のスタイルとして普及に取り組んでいる「ワークーション」について、岐阜県では温泉とスキーを絡めたリゾート型ワークーションを推進する。当事業では、温泉やスキーを組み込んだ岐阜県ならではのワークーションとして、1週間以内の滞在プランを造成、モニターツアーを実施することで、長期滞在における地域の諸課題を洗い出し、環境整備に向けた方針を検討する。

また、別途観光連盟が県内全域で実施する地域観光素材の商品化事業とも連携し、開発した商品を当事業のモニターツアーに組み込む等により、本県のワークーションの取組みを加速させる。

(2) 事業内容

①ワークーションモニターツアー事業(5,000千円)

ワークーション誘致に熱心な県内地域及び企業の福利厚生を代行する事業者等と連携し、1週間以内のモニターツアーを実施し、岐阜県ならではのワークーションの実施に向けて、長期滞在プランを造成し、モニターツアーとして滞在費の一部助成等を実施する。また、当該モニターツアーの参加者

の企業に対してもアンケートを実施し、企業モデルとして冊子を作成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無 有（「ぎふの農村でワーケーション」推進事業費）

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,000	ワーケーションモニターツアーの実施
合計	5,000	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

国：令和3年「新たな旅のスタイル」企業と地域によるモデル事業公募
(参加企業40・モデル地域40)

他県：

・和歌山県・・・平成29年度からワーケーションの取り組み開始。

Wakayama Workation Networksの推進。ワーケーション自治体協議会会長（和歌山県知事）

・長野県・・・商店街の空き店舗などの遊休施設を拠点として整備。平成31年3月に「信州リゾートテレワークフォーラム」を開催、ワーケーションに興味をもつ企業などを対象にワーケーション拠点としての長野県の魅力やメリットなどをPR

・三重県・・・令和3年、ワーケーションプランの企画、必要な環境整備及びモニタリング実施等のモデル事業を募集

(3) 後年度の財政負担

モニターツアーの結果を踏まえて、今後の展開を検討する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

温泉やスキーによるワーケーションのモニターツアーを実施し、ワーケーションの諸課題を洗い出し、岐阜県ならではのワーケーションの環境整備に向けた方針を検討する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
						%
① 観光消費額	2,933 億円 (R1)				3,300 億円 (R7)	%
② 観光入込客数（実数）	4,800 万人 (R1)				4,900 万人 (R7)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	企業とその従業員に対し、需要調査を実施。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 3 年度	令和 5 年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	令和 6 年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>政府はワーケーションに対して、「新しい旅行や働き方のスタイルとして普及に取り組む」としており、事業者からも平日かつ長期滞在が見込めるワーケーションに期待する声が多い。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) —	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>ワーケーションに熱心な市町村と連携することで、効率化を図れている。</p>

(今後の課題)

<p>実施した需要・意識調査の結果、実施の意向は強いが、企業側の実施に向けた諸課題があることが判明。モデル事業の結果を踏まえ、普及に向けた検討を実施する。</p>

(次年度の方向性)

<p>当事業は、モデル事業の位置づけであり、報告を元に課題を整理し、今後の他エリアへの展開等も検討する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>ワーケーション対策事業費補助金 【観光誘客推進課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	<p>岐阜県観光連盟等と連携し、造成した着地型プログラムをモニターツアーに組み込む</p>